

松が丘自治会主催の平成23年度敬老会の式典と懇親会が、9月18日(日)午前10時～12時まで、松が丘中央会館において、「和顔愛語(わげんあいご)」をモットーにして、和気あいあいとした雰囲気の中で盛大に開催されました。会場には86名の敬老会出席者以外に、来賓、自治会役員、福祉班長、民生委員、アトラクション関係者、およびボランティア等の大勢のメンバーが集まり、敬老会は超満員での開催となりました。



式典では、藤原自治会長をはじめ、来賓の吾妻地域包括支援センター竹内所長および出席者代表の中村氏から祝辞が述べられ、「高齢化が進む中で住みよい環境と街づくりのために、老若男女を問わず、年齢の垣根を越えた相互支援体制の重要性」について説かれました。

式典の後は懇親会のアトラクションの部に移り、自治会員による民謡、踊り、コーラスなどのサークル活動の披露と、さらに南陵中学校の生徒による素晴らしいコーラスに、大きな拍手喝采が送られました。



今年度から、出席者同士で会話を楽しむ「おしゃべりタイム」が新設されました。15分程度の僅かな時間でありましたが、話がはずみました。



今年度も、出席者の孫年齢に相当する南陵中学校の生徒が、案内役や下駄箱での手助けなどのボランティアに協力され、主催者側にとって大きな助けとなりました。南陵中学校の生徒は、今回の敬老会以外にも、松が丘の「新年餅つき大会」や「夏祭り」などのボランティアにも積極的に協力されており、このような地域社会との連携は、生徒の社会勉強に大きく役立つ推奨すべき活動といえましょう。

敬老会は定刻に閉会となり、出席者はお祝いの品を受け取って、楽しく過ごされた一時の思い出と一緒に満面の笑顔で帰宅されました。高齢化が進む中で、来年度の75歳以上の敬老会招待対象者数は更に増えることが予想されており、健康に十分に留意され、今年度以上に多数の敬老会へのご参加を願っております。



編集担当 本間

コメント

2.自治会実施報告：第三回防犯教室実施報告

今年で第三回目となる防犯教室が9月3日(土)に、中央会館で開かれました。今年度は防犯教室として、埼玉県西部地域振興センターの「防犯のまちづくり出前講座」を開講することとしました。

センターの佐藤先生から、2時間にわたり、プロジェクターを使った丁寧な説明と具体的な事例を挙げた講義を受けました。なお参加された方々から、最近あった電話による「振り込め詐欺未遂」の身に迫る話や、クレジットカード不正使用によって換金された事案などからの注意喚起の提案もありました。また講義内容に関連していくつかの質問もあり、中身の濃い、有意義な2時間の防犯教室でした。



残念ながら参加人数は、昨年に比べ少ない30名ほどでしたが、皆さん真剣に熱心に受講し大いに参考になったと感想を述べられていました。

現在松が丘では、身近な犯罪発生件数は比較的少ない状況ですが、犯罪を起こそうと狙っている輩は必ずいると推測されますので、今回の防犯対策、予防対策を参考にしてほしいと思います。

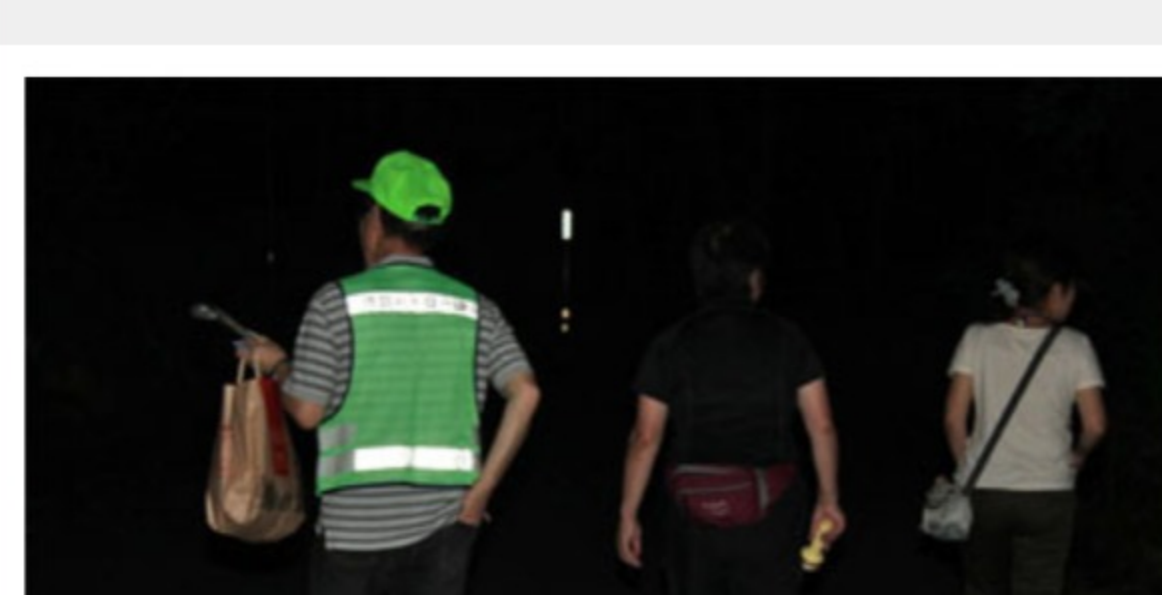
なお本日の講義内容の概要は以下のとおりです。

- (1) 県内、西部地域の犯罪発生状況
県の犯罪発生件数は、平成16年をピークに6年連続減少(40%減)しているが、所沢市では侵入盗(自転車盗等)が増加している。
- (2) 自転車盗、車上ねらい
所沢市では、増加している。(松が丘でも車上ねらい未遂の事案も7月まで2件発生している。)
(対策) 車から離れるときは、ドアはロックし、窓は完全に閉める。
- (3) 住居侵入盗
「犯罪を防止するための4つの原則」は、「時間・光・音・地域の目」です。
- (4) 子供の安全対策
子供を対象とした声かけ事案の発生が、増加している。(前年比45%増)
声かけ事案の被害時間は、午後3時～6時台が56%と多い。
(対策) 不審者等の入りにくい地域づくりのため、子供を見守る大人の目を増やすことが効果ある。見守りパトロール隊の増員が必要です。
- (5) 振り込め詐欺
被害は、50～70歳代の女性に多発している
(対策) 被害防止4か条
・電話を受けてもあわてない
・お金はすぐに振り込まない
・事実を確認する
・家族や警察に相談する
- (6) 「安心・安全なまちづくり」
個人的な対策を重ねただけでは、街全体の安全は確保できません。地域の皆さんによるパトロール・見守り活動・清掃活動などが必要です。

防犯担当理事 林 一正 宮下 昇

コメント

2.自治会実施報告：夏季防犯パトロールの実施報告



8月6日(土)夜7時から約1時間にわたり、夏季の防犯パトロールを防犯担当班長さんと理事の参加によって、実施しました。それぞれのブロック内を、事前に決めたチェック項目を検証しながら巡回しました。

この夜は、非常に蒸し暑く、いつ夕立があるかわからない天候の中、班長さんたちには、汗だくでパトロールをしていただき、ありがとうございました。

パトロールの後、ブロックごとにパトロールの結果を報告いただきましたが、その集約は以下にとおりです。

- (パトロールチェック項目の結果)
- (1) 不審者、不審物は、特にありませんでした。
- (2) 防犯灯、市街灯の球切れは、2件ありました。
- (3) 門灯の点灯状況は、全体的に40%程度のお宅が未点灯でした。
今回は門灯に点灯の協力要請している状況で、実際にどうなのかを確認しました。1丁目が点灯率が高く(70%程度)、2丁目が非常に低い(50%以下)という結果でしたので、その原因を調査していきます。また班長さんからは、「これほど未点灯の家が多いとは予想外でした」との感想がありました。
- (4) 交通上問題となる場所として、松が丘西の交差点が時差信号に代わってから、横断する歩行者が非常に危険な場面が発生しているため、歩行者専用の信号機の設置の要望がありました。
- (5) その他気づいた点
・山際の防犯灯に枝がかかって照度が落ちている
・防犯灯のカバーが汚れて、明るさが半減している
・歩道上で、ジョギングしている人に衝突する危険があるので、注意が必要である
・カーブミラーに木がかかって、見づらい場所がある
・大谷公園の西側の道路が暗い

なお指摘された項目については、今後改善に向けて対応し、9月の班長会で説明いたします。

防犯担当理事 林、宮下

コメント

2.自治会実施報告：2011年夏祭り 神輿・山車巡行

2011年7月17日(日)、朝から快晴の中、恒例の神輿・山車巡行が行われました。中央公園に集まり、神主による祭式が厳かに行われた後、山車1台、子供神輿2台、大人神輿1台が中央公園を朝8時に出発しました。暑いこともあり、沿道からはホースで大量の水をかけてもらい、大人神輿には虹が見られ、子どもたちは生き返ったようでした。

(※写真はクリックすると拡大します)



2丁目の巡行では、山車を引く人が溢れてきました。小さな子どもが多数参加しました。また、子供神輿も予定通り全てのコースを巡行することができました。最終目的地の西集会所でも、皆さん元気いっぱいでした。お疲れさまでした。



行事担当理事

コメント

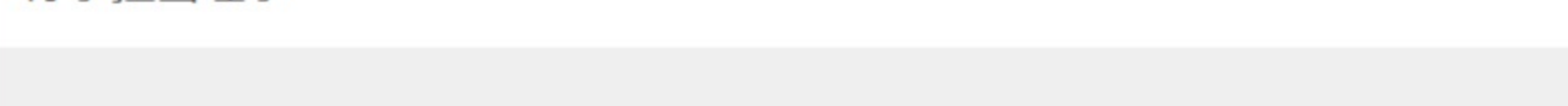
2.自治会実施報告：夏祭り 宵宮

今年(2011年)の夏祭りの基本コンセプトは、PTA、活動部、行事担当班長、役員が集まり「子どもたちの祭り」としました。初の試みとして、宵宮で新たに**キッズフェスティバル**を開催しました。

7月16日(土)の夕方、たくさんの子どもたちが参加し、今までで最高の日出(約1000名)となり、盛大に宵宮が行われました。高齢化が進む松が丘ですが、子どもたちも着実に増えていることを実感しました。子どもたちにとっては、故郷の夏祭りとなったことでしょう。

(※写真はクリックすると拡大します)

陽が沈む頃には、松が丘太鼓サークルによる太鼓の演奏、夜店や盆踊りが行われました。



行事担当理事

コメント